



<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~22週	
	第21週	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減		
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)	(46)				(10)			(10)			(4)			(9)			(13)				
インフルエンザ	3092 0.62	56 1.22	33 0.72	▼	3 0.30	1 0.10	▼	20 2.00	9 0.90	▼				31 3.44	23 2.56	▼	2 0.15			▼	12720
小児科定点 (定点医療機関数)	(30)				(6)			(7)			(3)			(6)			(8)				
RSウイルス感染症	1028 0.32	24 0.80	13 0.43	▼	1 0.17	2 0.33	△	13 1.86	3 0.43	▼		3 1.00	△	9 1.50	4 0.67	▼	1 0.13	1 0.13			189
咽頭結膜熱	2040 0.64	16 0.53	18 0.60	▲	2 0.33	3 0.50	▲	6 0.86	6 0.86					7 1.17	7 1.17		1 0.13	2 0.25	▲		249
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8440 2.66	140 4.67	150 5.00	△	38 6.33	39 6.50	△	26 3.71	30 4.29	△	19 6.33	15 5.00	▼	43 ◎7.17	49 ◎8.17	△	14 1.75	17 2.13	△		2584
感染性胃腸炎	20999 6.63	292 9.73	218 7.27	▼	102 17.00	80 13.33	▼	68 9.71	31 4.43	▼	35 11.67	27 9.00	▼	51 8.50	56 9.33	△	36 4.50	24 3.00	▼		4830
水痘	1416 0.45	15 0.50	16 0.53	▲	2 0.33	1 0.17	▼	7 ◎1.00	6 0.86	▼				4 0.67	8 ◎1.33	▲	2 0.25	1 0.13	▼		258
手足口病	4868 1.54	15 0.50	24 0.80	▲	8 1.33	18 3.00	△	5 0.71	5 0.71		1 0.33		▼	1 0.17		▼		1 0.13	△		163
伝染性紅斑	2608 0.82	46 1.53	37 1.23	▼	25 ◎4.17	19 ◎3.17	▼	7 1.00	7 1.00		6 ◎2.00	3 ◎1.00	▼	4 0.67	4 0.67		4 0.50	4 0.50			996
突発性発しん	1714 0.54	19 0.63	25 0.83	▲	4 0.67		▼	4 0.57	5 0.71	△	1 0.33	4 1.33	△	6 1.00	8 1.33	▲	4 0.50	8 1.00	▲		344
ヘルパンギーナ	981 0.31	2 0.07		▼				2 0.29		▼											13
流行性耳下腺炎	374 0.12	2 0.07	2 0.07								1 0.33	1 0.33		1 0.17		▼		1 0.13	△		28
眼科定点 (定点医療機関数)	(8)				(1)			(3)			(1)			(1)			(2)				
急性出血性結膜炎	8 0.01																				
流行性角結膜炎	398 0.57	3 0.38		▼				3 1.00		▼											63
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)				(2)			(2)			(1)			(2)			(3)				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	239 0.50	3 0.30	2 0.20	▼	1 0.50	2 1.00	△										2 0.67		▼		57
クラミジア肺炎	1 0.00																				
マイコプラズマ肺炎	47 0.10	3 0.30		▼	2 1.00		▼										1 0.33		▼		38
細菌性髄膜炎	10 0.02																				3
無菌性髄膜炎	11 0.02		2 0.20	△														2 0.67	△		6

※表中の数値 上段: 報告数 下段: 定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲: 2週連続増加、△: 今週増加、▼: 2週連続減少、▽: 今週減少

<全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
結核	2(村山2)	
梅毒	1(山形市1)	
侵襲性肺炎球菌感染症	1(山形市1)	※第21週追加報告分。 ワクチン接種歴: 不明。
百日咳	2(村山1、庄内1)	※第21週追加報告 2人。 ワクチン接種歴: 4回 1人、 不明 1人。

<通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型1件、B型32件です。
集団発生の報告は、ありませんでした。

※トピックスで、伝染性紅斑について掲載しています。

※警報・注意報の基準値

疾患	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ				1	4	2	2		5	3	2	12		2	合計
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									33
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	2	5	3	1	1	1									13
咽頭結膜熱		3	7	1	2	1	2		1					1	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	10	9	18	18	22	25	19	5	16		3	150
感染性胃腸炎	2	22	41	24	28	25	11	12	8	7	14	15	1	8	218
水痘		1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1		16
手足口病			14	2	2	3	2		1						24
伝染性紅斑			1	2	13	5	3	4	3	1	3	1		1	37
突発性発しん		4	16	4		1									25
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎					1	1									2

< 平成31年4月 月報 >

2019年5月15日 発行

疾患名		山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
		3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	
STD定点	(定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	16	10	3	6	1		1	1	3	9	2		53
	定点当り	1.60	1.00	1.00	1.50	1.00		1.00	0.50	1.50	3.00	0.67		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	9		3		4	3	1	5		1		36
	定点当り	0.80	0.90		0.75		4.00	3.00	0.50	2.50		0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	1	1		1	1								6
	定点当り	0.10	0.10		0.25	1.00								
淋菌感染症	報告数	6	2	1		1				3		3		14
	定点当り	0.60	0.20	0.33		1.00				1.50		1.00		
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	4					1			4	3		20
	定点当り	0.40	0.40					1.00			1.33	1.00		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	17	17	2	6	4		2			11	9		78
	定点当り	1.70	1.70	1.00	1.50	2.00		2.00			3.67	3.00		
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													
	定点当り													

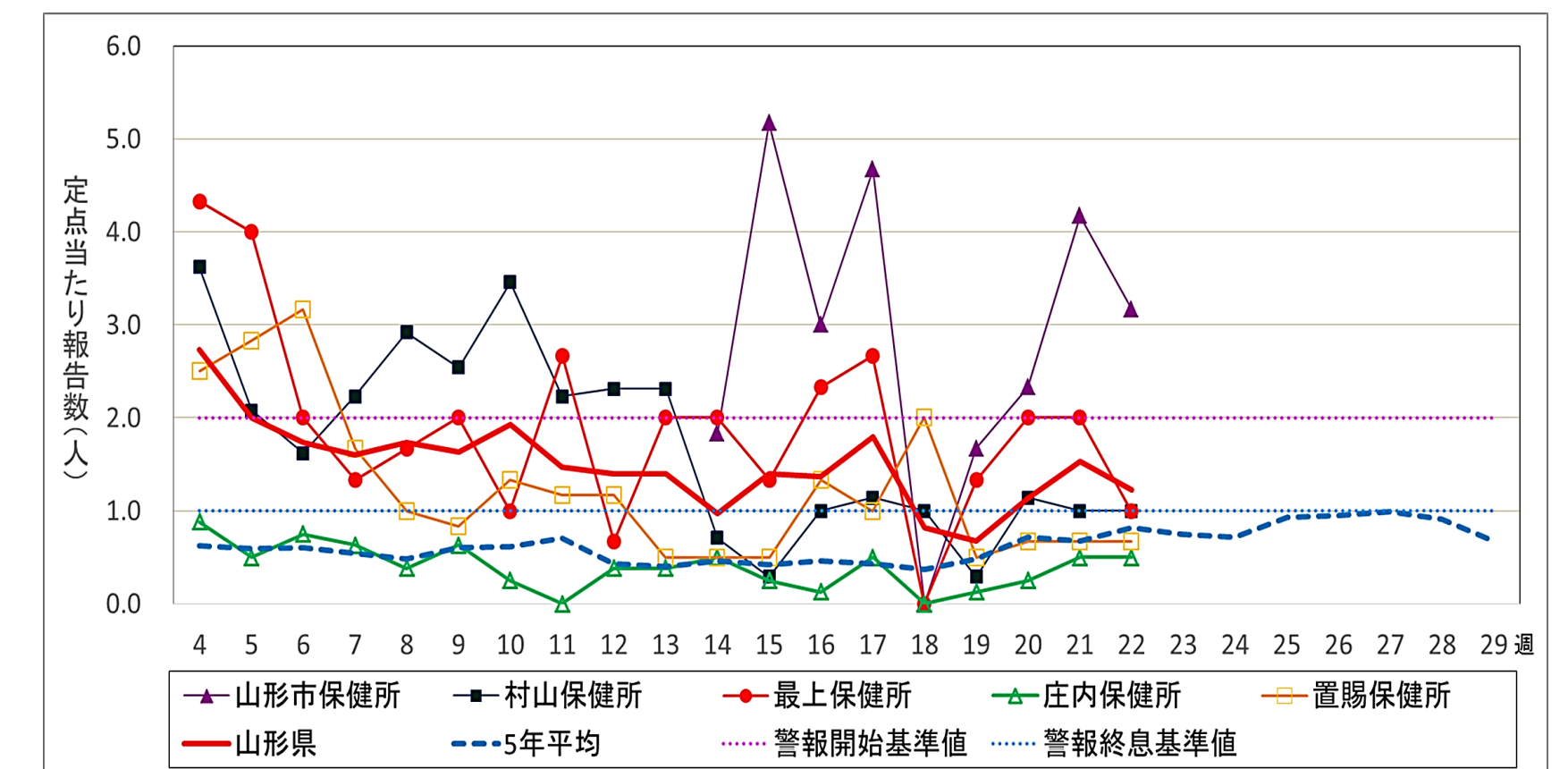
< トピックス >

伝染性紅斑(りんご病)情報

伝染性紅斑の定点当たり報告数が、山形市保健所管内、最上保健所管内で警報レベルとなっています。

・第22週 定点当たり報告数(山形県:1.23人)
 山形市保健所:3.17人、村山保健所:1.00人、最上保健所:1.00人
 置賜保健所:0.67人、庄内保健所:0.50人
 ※警報開始基準値:2 警報終息基準値:1

・定点当たり報告数の推移(山形県)



・伝染性紅斑とは

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19に感染することによっておこる感染症です。典型例では両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれます。

《症状》10～20日の潜伏期の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ、続いて手足にもレース様の発疹が現れます。なお、頬に発疹が現れる前に、風邪の様な症状がみられ、この時期に感染力が最も強くなります。

その後、発疹が出て、伝染性紅斑と診断された頃には感染力はほぼなくなっています。予後は通常良好ですが、妊婦が感染した場合、胎児水腫や流産を起こすことがあるので注意が必要です。

《予防法》伝染性紅斑は、感染力のある時期には特徴的な症状を示さないため、日頃からの手洗いうがい重要です。

